膀胱全摘除術＋回腸導管造設を受けられる患者様へ（前日入院）

患者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様　入院病棟：＿＿＿＿病棟　主治医：＿＿＿＿＿＿　受け持ち看護師：＿＿＿＿＿＿＿＿　No1/3

日付	／	／		／
入院日数	1日目	2日目		3日目
イベント	入院日	手術当日：手術前	手術当日：手術後	手術後1日目
目標 毎日看護師と評価します	□治療について理解できる □排尿方法が変わることを受け入れられる		□安静が守られる	□離床できる
			□体温・脈拍・血圧・呼吸が安定している□創部・ストーマ・皮膚に異常がない □傷の痛みがコントロールできている□お腹が張っていない	
		□排尿方法が変わることを受け入れられる		
内服 注射		・　　時から点滴を始めます	・点滴をします	・点滴をします ・内服（漢方）が開始になります
検査	・採血があります		・採血をします ・レントゲンを撮ります	・採血、ﾚﾝﾄﾞｹﾞﾝがあります ・体重測定があります＿＿＿kg
治療 処置	／ ストーマの位置を決め、印を付けます ／　手術の範囲に体毛があれば剃ります	・朝体重測定をしてください ・手術は　　時　　分の予定です	・酸素マスクをします ・鼻から胃の管が入ってくることがあります ・背中に痛み止めの管が、お腹にも管が入ってきます ・血栓ができないよう足にマッサージ器がついてきます	・回診があります ・傷の状態を観察します
食事 飲水	・昼から出ます。食事内容に制限はありません ・　／　　時以降欠食となります	・　　時以降飲めません お薬は看護師に確認してください	・食べたり、飲んだりできません	・医師の許可があれば水分を取ることが出来ます。また、栄養補助剤が開始になります（お腹の動きにより開始時期が前後する場合があります）
清潔	・手術前日は必ずシャワー浴してください			・お腹の管が抜けるまで身体を拭くタオルをお持ちします
排泄			・ストーマから尿の管が入ってきます ・ストーマ装具を貼っています	
安静 活動	・処置が終了するまで病棟内で過ごしてください	・病棟内で過ごしてください	・ベッド上安静です。座ったり、ベッドから下りることはできません ・横向きになることは出来ます	・回診後、看護師が付き添い歩行します
説明 指導	・医師から手術についての説明があります ・看護師から入院後の生活、手術（術後の装具、ストーマ）について説明します ・術後4階西病棟（ハイケア病棟）に数日間転棟する場合があります。別紙を用いて説明します ・麻酔科の医師と手術室の看護師が訪問に来ます	・新しい病衣に着替えます ・時計、眼鏡、義歯等は外してください	・手術や麻酔の影響により痛みや嘔気などの症状が出ることが予測されます。適宜対応しますので辛いことがあれば看護師に伝えてください ・ハイケア病棟への転棟、もしくはお部屋を移動していただくことがあります	・手術後の合併症を予防するためには、身体を動かすことが大切です ・痛み止めを使用しながら動きましょう

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

市立札幌病院　泌尿器科　2018年4月、2019年10月、2020年10月、2023年2月、8月改訂

膀胱全摘除術＋回腸導管造設を受けられる患者様へ（前日入院）

患者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様　入院病棟：＿＿＿＿ 病棟　主治医：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　受け持ち看護師：＿＿＿＿＿＿＿＿

日付	／　～　／	／	／	／
入院日数	4～5 日目	6 日目	7 日目	8 日目
イベント	手術後 2～3 日目	手術後 4 日目	手術後 5 日目	手術後 6 日目
目標	□創部・ストーマ・皮膚に異常がない □痛みがコントロールできている □嘔気や便秘がみられない □排尿方法が変わることを受け入れられる		□創部・ストーマ・皮膚に異常がない □痛みがコントロールできている □嘔気や便秘がみられない □ストーマ装具交換の手順が分かる	
内服 注射	・点滴をします ・内服（漢方）があります		・点滴をします ・食事、水分が摂れていれば点滴は終了となります ・内服（漢方）があります	・内服（漢方）があります
検査	【術後 2 日目】採血とレントゲンがあります 【術後 3 日目】レントゲンがあります ・朝食前に体重測定があります＿＿＿kg ＿＿＿kg	・採血とレントゲンがあります ・朝食前に体重測定があります ＿＿＿kg 	・便が何日も出ていない場合や嘔気がある場合などにレントゲンを撮ることがあります ・朝食前に体重測定があります ＿＿＿kg ＿＿＿kg	
治療 処置	・回診があります ・背中のチューブ、おなかの管を抜きます			
食事 飲水	・3 日目から回復の状況により、医師の指示で重湯から開始します ・嘔気や腹痛などがなければ、3 分粥、5 分粥、7 分粥、全粥、常食へ順次変更していきます			
清潔	・お腹の管が抜けるまで体を拭くタオルをお持ちします ・管が抜けてからシャワーに入ることが出来ます		・シャワー浴ができます	
排泄	・ストーマから尿の管が入っています ・ストーマ装具を貼っています ・排便があるように体を動かしていきましょう ・排便がなければ、必要に応じて下剤を使用します			
安静 活動	・病院内自由にお過ごしください			
説明 指導	・術後の合併症を予防するためには、体を動かすことが大切です ・痛み止めを使用しながら動いていきましょう		・ステップアップ表に沿って、看護師とともにストーマ装具の取り扱い方法を練習します	

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

膀胱全摘除術＋回腸導管造設を受けられる患者様へ（前日入院）

患者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様　　入院病棟：＿＿＿＿ 病棟　　主治医：＿＿＿＿＿＿＿＿　受け持ち看護師：＿＿＿＿＿＿＿＿

日付	／	／	／　～　／	／　～　／	／　～　／
入院日数	9日目	10日目	11～14日目	15～20日目	21～23日目
イベント	手術後7日目	手術後8日目	手術後9～12日目	手術後13～18日目	手術後19～退院
目標	□創部・ストーマ・皮膚に異常がない □痛みがコントロールできている □嘔気や便秘がみられない □ストーマ装具交換の手順が分かる		□痛みがコントロールできている □創部・ストーマ・皮膚に異常がない □排便コントロールができる □主体的にストーマ装具交換が出来る	□痛みがコントロールできている □創部・ストーマ・皮膚に異常がない □排便コントロールができる □退院後の生活の注意点が分かる □主体的にストーマ装具交換が出来る	□ストーマの購入方法が分かる
内服 注射	・内服（漢方）があります（予定では術後7日目までですが、状況によって追加の可能性があります）				
検査	・採血とレントゲンがあります ・朝食前に体重測定があります	・便が何日も出ていない場合や嘔気がある場合などにレントゲンを撮ることがあります 【術後9日目】採血があります			
治療 処置					
食事 飲水	・嘔気や腹痛などがなければ、3分粥、5分粥、7分粥、全粥、常食へ順次変更していきます				
清潔	・シャワー浴ができます ・傷の状態によって医師の許可があれば入浴が可能になります				
排泄	・ストーマ装具を貼っています ・ステップアップ表に沿って、看護師とともにストーマ装具の取り扱い方法を練習します ・排便があるように体を動かしていきましょう ・排便がなければ、必要に応じて下剤を使用します				
安静 活動	・病院内自由にお過ごしください				
説明 指導	・術後の合併症を予防するためには、体を動かすことが大切です ・痛み止めを使用しながら動いていきましょう ・ステップアップ表に沿って、看護師とともにストーマ装具の取り扱い方法を練習します				
			・医師より病理検査の結果を説明します ・看護師より退院後の生活について説明します ・疑問や不安等があればいつでもお話しください ・退院手続きが出来ましたら、清算表を病室にお持ちしますのでお持ちください ・お帰りの際に精算をお願いします		

退院基準：
- □37.5℃以上の発熱がない
- □ストーマ・フランジの管理ができる
- □創感染症がない
- □創傷が自制内で経過する

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります